学校番号	213

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・技術を身に付けるだけでなく、制作活動の中で得られる内面の成長も大切にします。どの課題も、自己と向き合いながらの制作になります。自己表現として作品を制作する喜びを実感してください。また、他者の作品を「鑑賞」する活動も通して、自己と他者の理解を深めていきましょう。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

【知識及び技能】

対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】

主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	デッサン	・鉛筆、練消しゴムを使用する際の基礎知識及び技術の習得。 ・立体的に表現する練習。	a:道具を適切に選択し、立体的な表現ができているか。 b:適切なモチーフが選択できているか。細部にまでこだわり、映しとる工夫ができているか c:制作途中で客観的に作品を見、課題を主体的に見つけ、試行錯誤しようとしているか。	作品	作品	作品 授業や補講の様子
	モザイク画	・アクリル絵の具を使用する際の基礎知識及び技術の習得 ・明度の理解と習得。	a:ムラ、はみだし、隙間がないか b:明度の理解と色の組み合わせの美しさを考えた配置になっているか c: 制作途中で客観的に作品を見、課題を主体的に見つけ、試行錯誤しようとしているか。	作品	プリント 作品	作品 授業や補講の様子
2学期	建築模型	・ケント紙、カッターナイフ、接着剤を使用する際の基本的な知識及び技術の習得。 ・既存の造形物に対する興味関心の促進と独道的なデザインの創造への創意工夫。	a:素材、道具の特性を理解し適切に使用、表現できているか。 b:様々なデザインを調べたり、構想を練ったりしているか。 c: 制作途中で客観的に作品を見、課題を主体的に見つけ、試行錯誤しようとしているか。	作品	アイデアスケッチ 作品鑑賞	作品 授業や補講の様子
	ポスター	・モダンテクニックの理解習得。 ・レタリングや構図の重要性の理解と工夫。	a:技法の理解と習得ができているか。 b:限られたパーツでどのように個性を出すかを創意工夫できているか。 c: 制作途中で客観的に作品を見、課題を主体的に見つけ、試行錯誤しようとしているか。	作品	作品	作品 授業や補講の様子
3学期	絵画「卵から生まれる世界」	・独創的なストーリーの創造。 ・意図に応じた表現方法の模索。 ・合評による自他の表現方法の多様性の相互理解。	a:意図に応じた適切な構図や技法を使用できているか。 b:独創的なストーリーを生成できたか。自他の主題や表現方法の多様性を理解し、一層の個性の伸長をはかれたか。 c: 制作途中で客観的に作品を見、課題を主体的に見つけ、試行錯誤しようとしているか。	作品	アイデアスケッチ 作品鑑賞	作品 授業や補講の様子 発表

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度